

# 2023(令和5)年度調査研究報告

## 2023(令和5)年度 修学旅行の実施状況調査

関東地区・東海地区・近畿地区

各修学旅行委員会 集計・比較・考察

調査時期:2023(令和5)年7月～2023(令和5)年12月

[本調査は上記の期間に実施したため、実際の実施状況とは異なる部分があります]

2024(令和6)年2月 発行

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

## 目 次

1 調査研究のねらいと概要	1
(1) 調査研究のねらい	1
(2) 調査の概要	1
① 調査対象	
② 調査時期	
③ 調査内容	
④ 調査・集計方法	
2 2023(令和5)年度の修学旅行について	2
(1) 回答状況	2
(2) 実施概況	2
① 2023(令和5)年度の修学旅行について	2
② 実施時期	3
③ 実施期間	5
④ 実施学年	5
⑤ 実施方面	5
⑥ 都道府県別宿泊地	7
⑦ 生徒一人あたりの方面別旅行費用 平均額	13
⑧ 生徒一人あたりの旅行費用分布	13
⑨ 生徒一人あたりの交通費(貸切バス代除く)分布	13
⑩ 生徒一人あたりの貸切バス代分布	14
⑪ 生徒一人あたりの宿泊費分布	14
⑫ 生徒一人あたりの体験費分布	14
⑬ 生徒一人あたりの保険料分布	15
⑭ 小遣い上限 平均額	15
⑮ 旅行方面別費用内訳 平均額	15
⑯ 不参加生徒について	16
(3) 修学旅行実施にあたり昨年度と変更した点	18
(4) 今後、修学旅行先として検討したい方面や地域(複数回答)	18
(5) アレルギー対応について	20
① アレルギー対策で有効、情報共有が適切であった事例	
② アレルギー対策で留意すべき事例	
(6) 他校に紹介したい取り組み	21
(7) これからの修学旅行実施について課題と思われること	22
※各課題ごとに①～⑨で記載	
3 まとめ	26

# 1 調査研究のねらいと概要

## (1) 調査研究のねらい

1958(昭和33)年10月1日の小・中学校学習指導要領告示により、修学旅行の教育課程への位置付けが明確にされてから半世紀あまり、またもや修学旅行は新たな試練に遭遇した。

2020(令和2)年初頭、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、所謂パンデミックが世界中に広がった。日常生活はもとより、修学旅行も次々と延期・中止などを余儀なくされた。

しかしながら、文部科学省は2020(令和2)年3月24日付事務次官通知で「修学旅行については、その教育的意義や児童生徒の心情等にも配慮いただき、当面の措置として取り止める場合においても、中止ではなく延期扱いとすることを検討いただくなどの配慮をお願いしたい」という方針を表明した。これは日本の学校教育において修学旅行が有する高い教育的価値を十二分に認めている証左である。

そして苦しい3年間の時を経て、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行された本2023(令和5)年度、学校及び関係者は厳しい感染症対策をなお継続しつつも、ようやく計画通りの修学旅行を行える状況に復した。しかしながら、修学旅行を取り巻く環境には様々な部分で、依然としてコロナ禍による影響が色濃く残っていることも事実である。

その点も踏まえつつ、本調査においては基本的な調査項目として実施概況、時期、日数、方面訪問地、旅行費用及び不参加生徒数等について集計考察を行うとともに、抱えている課題にも踏み込み、コロナ禍後初年度の修学旅行についてより実態に近い実施状況の把握を行うこととした。

今後も地道な調査と分析・研究を進めながら、将来的に求められる修学旅行像及びその環境づくりの一助となればと願っている。

## (2) 調査の概要

- |                  |  |
|------------------|--|
| <b>① 調査対象</b>    | 以下の三地区の公立中学校を対象 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関東地区 5 県（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉）</li><li>・ 東海地区 3 県（愛知・三重・岐阜）※愛知県は名古屋市を除く</li><li>・ 近畿地区 2 府 3 県（大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良）<br/>※令和4度より和歌山県は調査対象から除く</li></ul>  |
| <b>② 調査時期</b>    | 2023（令和5）年7月～2023（令和5）年12月<br>※2023（令和5）年12月以降に実施予定の学校については回答時点での予定を調査   |
| <b>③ 調査内容</b>    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実施時期、実施期間、実施方面、旅行費用、不参加生徒等</li><li>・ アレルギー対策</li><li>・ 他校へ紹介したい取り組み</li><li>・ これからの修学旅行実施について課題と思われること</li></ul>   |
| <b>④ 調査・集計方法</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関東地区、近畿地区はオンラインで調査、回答</li><li>・ 東海地区は調査用紙を配布し、オンラインで回答</li><li>・ (2)実施概況 以降は集計対象校数を基準として算出した</li><li>・ 表中の「割合」については小数点第二位以下四捨五入しているため表示上の割合の合計が100%とならないものもある</li><li>・ 特別支援学校及び高等学校附属中学校は特殊性が高いため金額の集計対象から除外した</li><li>・ 旅行方面が複数にまたがる場合は、1泊目の宿泊地を基準として実施方面を集計した</li><li>・ 諸費用（交通費・宿泊費・体験費等）の平均額算出については実施期間が2泊3日の校数を母数として用いている</li></ul> |

## 2 2023(令和5)年度の修学旅行について

### (1) 回答状況(校数と割合)

	(校・%)			
	関東	東海	近畿	合計
調査校数	1,296	625	1,148	3,069
回答校数	1,296	625	1,053	2,974
回答率	100.0	100.0	91.7	96.9
集計対象校数	1,296	625	1,053	2,974

各地区の詳細

〈関東地区〉

(校・%)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	216	149	156	412	363	1,296
回答校数	216	149	156	412	363	1,296
回答率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

〈東海地区〉

(校・%)

	愛知	岐阜	三重	合計
調査校数	299	177	149	625
回答校数	299	177	149	625
回答率	100.0	100.0	100.0	100.0

※愛知県は尾張・三河地区のみ  
※岐阜県に複数回実施1校あり

〈近畿地区〉

(校・%)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計
調査校数	454	335	161	98	100	1,148
回答校数	413	324	160	87	69	1,053
回答率	91.0	96.7	99.4	88.8	69.0	91.7

### (2) 実施概況

#### ① 2023(令和5)年度の修学旅行について

(校)

	関東	東海	近畿	合計
予定通り実施	1,279	611	902	2,792
期日方面等を変更して実施	13	9	148	170
実施予定なし	4	5	3	12

- 予定通り実施した学校が格段に増え、中止した学校は0となった。
- 関東地区では、コロナ禍前の行先方面(近畿方面中心)にほぼ戻った。  
また、実施時期についても夏季・秋季へなど、多少の変更があった。5月に発災した「能登半島地震」の影響もあったと考える。
- 東海地区、近畿地区でも、コロナ禍前の行先方面に戻った感が強いが、一部の方面については昨年度に変更した方面をそのまま継続している学校もある。
  - (東海地区)  
東海、近畿方面⇒関東方面へ  
東北方面への学校が漸増
  - (近畿地区)  
東海、近畿方面⇒関東、沖縄方面へ(沖縄方面への学校数が前年度の3倍強となった)

## ② 実施時期(校数と割合)

(校・%)

三地区	関東	東海	近畿	合計	割合
4月	57	30	131	218	7.3
5月	499	287	590	1,376	46.3
6月	440	208	286	934	31.4
7月	69	1	8	78	2.6
8月	3	1	4	8	0.3
9月	129	69	22	220	7.4
10月	17	19	8	44	1.5
11月	1	4	0	5	0.2
12月	38	1	0	39	1.3
1月	17	0	0	17	0.6
2月	22	0	1	23	0.8
3月	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	4	5	3	12	0.4
合計校数	1,296	625	1,053	2,974	100.0

### 〈関東地区〉

(校・%)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	25	25	0	0	7	57	4.4
5月	96	70	92	65	176	499	38.5
6月	52	34	48	176	130	440	34.0
7月	0	0	0	67	2	69	5.3
8月	0	1	1	0	1	3	0.2
9月	42	17	10	27	33	129	10.0
10月	0	1	2	0	14	17	1.3
11月	0	0	0	1	0	1	0.1
12月	1	0	1	36	0	38	2.9
1月	0	0	0	17	0	17	1.3
2月	0	0	0	22	0	22	1.7
3月	0	0	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	0	1	2	1	0	4	0.3
合計校数	216	149	156	412	363	1,296	100.0

### 〈東海地区〉

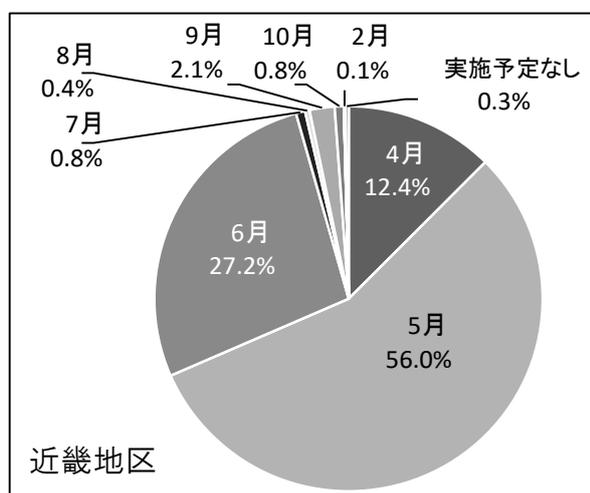
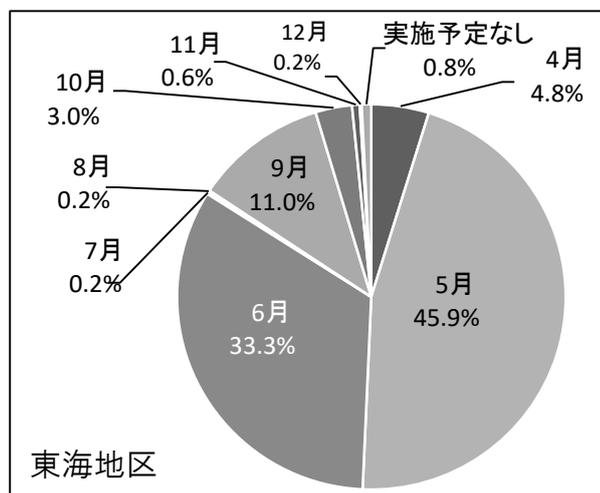
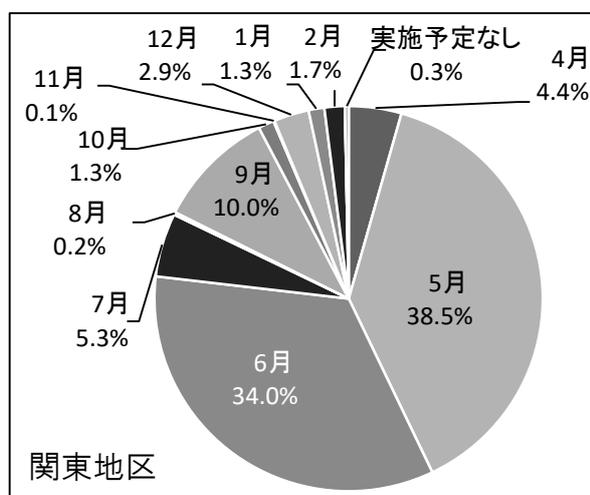
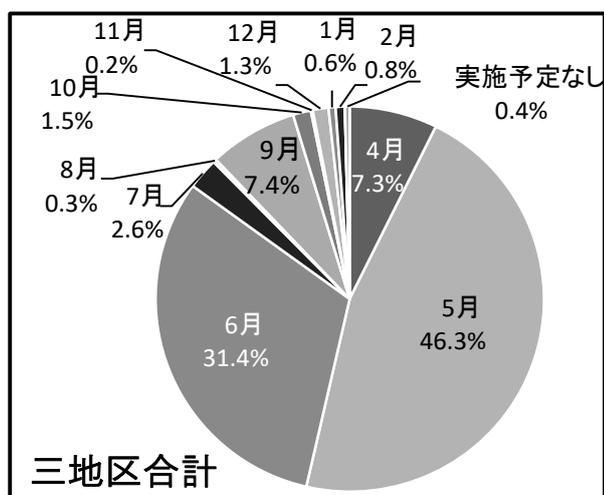
(校・%)

	愛知	岐阜	三重	合計	割合
4月	0	0	30	30	4.8
5月	129	79	79	287	45.9
6月	155	27	26	208	33.3
7月	1	0	0	1	0.2
8月	1	0	0	1	0.2
9月	10	54	5	69	11.0
10月	1	13	5	19	3.0
11月	0	2	2	4	0.6
12月	0	1	0	1	0.2
1月	0	0	0	0	0.0
2月	0	0	0	0	0.0
3月	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	2	1	2	5	0.8
合計校数	299	177	149	625	100.0

〈近畿地区〉

(校・%)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計	割合
4月	6	57	14	48	6	131	12.4
5月	207	223	101	11	48	590	56.0
6月	181	31	37	26	11	286	27.2
7月	4	0	2	0	2	8	0.8
8月	1	1	0	1	1	4	0.4
9月	9	9	2	1	1	22	2.1
10月	4	3	1	0	0	8	0.8
11月	0	0	0	0	0	0	0.0
12月	0	0	0	0	0	0	0.0
1月	0	0	0	0	0	0	0.0
2月	0	0	1	0	0	1	0.1
3月	0	0	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	1	0	2	0	0	3	0.3
合計校数	413	324	160	87	69	1,053	100.0



○関東・東海・近畿地区ともに春季(4月～7月)に実施した学校の割合が益々高くなり、コロナ禍前の実施時期の傾向にほぼ戻った。

○前年度に引き続き夏秋以降に実施した学校が一定数発生したが、9月中の実施校割合が高く、9月及び10月の実施校数は減少した。

### ③ 実施期間(校数と割合)

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計	割合
1泊2日	4	13	7	24	0.8
2泊3日	1,283	590	1,039	2,912	97.9
3泊以上	5	17	4	26	0.9
実施予定なし	4	5	3	12	0.4
合計校数	1,296	625	1,053	2,974	100.0

### ④ 実施学年(校数と割合)

(校・%)

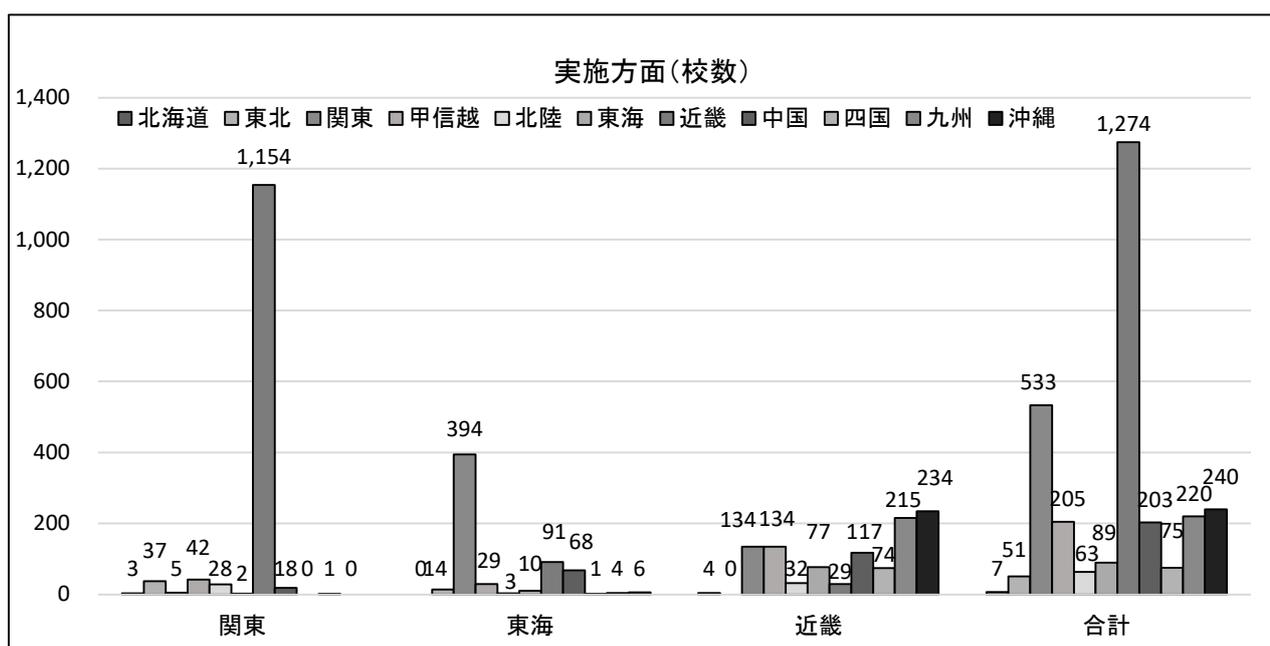
	関東	東海	近畿	合計	割合
3年生	1,208	607	1,043	2,858	96.1
2年生	80	9	5	94	3.2
複数学年	4	4	2	10	0.3
実施予定なし	4	5	3	12	0.4
合計校数	1,296	625	1,053	2,974	100.0

### ⑤ 実施方面(校数と割合)

(校・%)

方面	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道	3	0	4	7	0.2
東北	37	14	0	51	1.7
関東	5	394	134	533	17.9
甲信越	42	29	134	205	6.9
北陸	28	3	32	63	2.1
東海	2	10	77	89	3.0
近畿	1,154	91	29	1,274	42.8
中国	18	68	117	203	6.8
四国	0	1	74	75	2.5
九州	1	4	215	220	7.4
沖縄	0	6	234	240	8.1
海外	3	2	0	5	0.2
実施予定なし	3	3	3	9	0.3
合計校数	1,296	625	1,053	2,974	100.0

※実施方面は、「⑥都道府県別宿泊地」の区分を基準とした  
実施方面が複数にまたがる場合は1泊目の宿泊地を適用した



※海外・実施予定なしは除く

〈関東地区〉

(校・%)

方面	県名	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
北海道		0	0	0	3	0	3	0.2
東北		0	0	1	2	34	37	2.9
関東		1	0	1	0	3	5	0.4
甲信越		0	0	0	1	41	42	3.2
北陸		0	0	4	2	22	28	2.2
東海		0	0	0	0	2	2	0.2
近畿		213	146	142	399	254	1,154	89.0
中国		2	2	5	3	6	18	1.4
四国		0	0	0	0	0	0	0.0
九州		0	0	0	0	1	1	0.1
沖縄		0	0	0	0	0	0	0.0
海外		0	0	1	1	0	2	0.2
実施予定なし		0	1	2	1	0	4	0.3
合計校数		216	149	156	412	363	1,296	100.0

〈東海地区〉

(校・%)

方面	県名	愛知	岐阜	三重	合計	割合
北海道		0	0	0	0	0.0
東北		12	2	0	14	2.2
関東		243	83	68	394	63.0
甲信越		24	0	5	29	4.6
北陸		2	1	0	3	0.5
東海		9	0	1	10	1.6
近畿		6	48	37	91	14.6
中国		1	41	26	68	10.9
四国		0	0	1	1	0.2
九州		0	1	3	4	0.6
沖縄		0	0	6	6	1.0
海外		2	0	0	2	0.3
実施予定なし		0	1	2	3	0.5
合計校数		299	177	149	625	100.0

〈近畿地区〉

(校・%)

方面	府県名	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計	割合
北海道		1	3	0	0	0	4	0.4
東北		0	0	0	0	0	0	0.0
関東		10	85	24	10	5	134	12.7
甲信越		67	16	32	11	8	134	12.7
北陸		20	4	3	3	2	32	3.0
東海		55	14	3	1	4	77	7.3
近畿		7	8	2	8	4	29	2.8
中国		62	8	15	16	16	117	11.1
四国		42	12	9	4	7	74	7.0
九州		72	89	35	15	4	215	20.4
沖縄		76	85	35	19	19	234	22.2
実施予定なし		1	0	2	0	0	3	0.3
合計校数		413	324	160	87	69	1,053	100.0

⑥ 都道府県別宿泊地 ※海外・実施予定なしは除く

〈関東地区〉  
宿泊校数

(校)

方面	宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	
北海道	北海道	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	0	3
東北	青森						0						0
	岩手					2	2					1	1
	宮城			1	2		3			1	2	1	4
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島					32	32					31	31
	小計	0	0	1	2	34	37	0	0	1	2	33	36
関東	茨城						0	1					1
	栃木					2	2					4	4
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉	1					1						0
	東京			1		1	2	1					1
	神奈川						0						0
	小計	1	0	1	0	3	5	2	0	0	0	4	6
甲信越	山梨					1	1					1	1
	新潟				1		1					3	3
	長野					40	40					38	38
	小計	0	0	0	1	41	42	0	0	0	0	42	42
北陸	富山					2	2						0
	石川			4	2	20	26			4	3	22	29
	福井						0						0
	小計	0	0	4	2	22	28	0	0	4	3	22	29
東海	岐阜					1	1						0
	静岡					1	1						0
	愛知						0						0
	三重						0						0
	小計	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
近畿	滋賀	3		1	3	8	15	4		1	4	9	18
	京都	198	132	137	381	230	1,078	204	143	145	389	246	1,127
	大阪	1	8			8	17		1		1	2	4
	兵庫						0						0
	奈良	11	6	4	15	7	43	5	4		8	1	18
	和歌山					1	1						0
	小計	213	146	142	399	254	1,154	213	148	146	402	258	1,167
中国	鳥取						0						0
	島根						0						0
	岡山						0						0
	広島	2	2	5	3	6	18			1		1	2
	山口						0						0
	小計	2	2	5	3	6	18	0	0	1	0	1	2
四国	徳島						0						0
	香川						0						0
	愛媛						0						0
	高知						0						0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡						0						0
	佐賀						0						0
	長崎						0						0
	熊本						0						0
	大分						0						0
	宮崎						0						0
	鹿児島					1	1					1	1
	小計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
沖縄	沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	216	148	153	410	363	1,290	215	148	152	410	361	1,286

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	県名 宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	
北海道	北海道	0	0	0	321	0	321	0	0	0	321	0	321
東北	青森						0						0
	岩手					227	227					118	118
	宮城			21	371		392			21	371	109	501
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島					3,896	3,896					3,685	3,685
	小計	0	0	21	371	4,123	4,515			21	371	3,912	4,304
関東	茨城						0	44					44
	栃木					59	59					278	278
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉	3					3						0
	東京			3		8	11	190					190
	神奈川						0						0
	小計	3	0	3	0	67	73	234	0	0	0	278	512
甲信越	山梨					35	35					35	35
	新潟				155		155					391	391
	長野					6,279	6,279					6,090	6,090
	小計	0	0	0	155	6,314	6,469	0	0	0	0	6,516	6,516
北陸	富山					182	182						0
	石川			413	231	2,989	3,633			413	386	3,171	3,970
	福井						0						0
	小計	0	0	413	231	3,171	3,815	0	0	413	386	3,171	3,970
東海	岐阜					202	202						0
	静岡					58	58						0
	愛知						0						0
	三重						0						0
	小計	0	0	0	0	260	260	0	0	0	0	0	0
近畿	滋賀	453		350	480	1,183	2,466	562		350	510	1,470	2,892
	京都	20,090	13,860	14,847	52,397	29,004	130,198	20,683	15,089	15,474	53,354	31,158	135,758
	大阪	96	928			1,297	2,321		73		170	345	588
	兵庫						0						0
	奈良	1,081	563	308	1,808	904	4,664	458	230		969	123	1,780
	和歌山					146	146						0
	小計	21,720	15,351	15,505	54,685	32,534	139,795	21,703	15,392	15,824	55,003	33,096	141,018
中国	鳥取						0						0
	島根						0						0
	岡山						0						0
	広島	217	41	387	318	694	1,657			68		40	108
	山口						0						0
	小計	217	41	387	318	694	1,657	0	0	68	0	40	108
四国	徳島						0						0
	香川						0						0
	愛媛						0						0
	高知						0						0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡						0						0
	佐賀						0						0
	長崎						0						0
	熊本						0						0
	大分						0						0
	宮崎						0						0
	鹿児島					56	56					56	56
	小計	0	0	0	0	56	56	0	0	0	0	56	56
沖縄	沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	21,940	15,392	16,329	56,081	47,219	156,961	21,937	15,392	16,326	56,081	47,069	156,805

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

〈東海地区〉  
宿泊校数

(校)

方面	県名 宿泊 都道府県	一泊目			一泊目 合計	二泊目			二泊目 合計
		愛知	岐阜	三重		愛知	岐阜	三重	
北海道	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	青森				0				0
	岩手				0				0
	宮城	6	2		8	6	1		7
	秋田				0				0
	山形	6			6				0
	福島				0				0
	小計	12	2	0	14	6	1	0	7
関東	茨城				0				0
	栃木	3			3	1			1
	群馬				0				0
	埼玉				0				0
	千葉	135	36	45	216	130	39	39	208
	東京	89	47	23	159	90	43	21	154
	神奈川	16			16	9		1	10
	小計	243	83	68	394	230	82	61	373
甲信越	山梨	23		5	28	30	1	12	43
	新潟				0				0
	長野	1			1	5			5
	小計	24	0	5	29	35	1	12	48
北陸	富山				0		1		1
	石川	2	1		3	1			1
	福井				0				0
	小計	2	1	0	3	1	1	0	2
東海	岐阜				0	1			1
	静岡	9		1	10	13		1	14
	愛知				0				0
	三重				0				0
	小計	9	0	1	10	14	0	1	15
近畿	滋賀			1	1				0
	京都		6	6	12		2	1	3
	大阪	4	31	14	49	3	59	37	99
	兵庫	2	11	16	29	2	12	23	37
	奈良				0				0
	和歌山				0				0
	小計	6	48	37	91	5	73	61	139
中国	鳥取				0				0
	島根	1			1	1			1
	岡山			3	3		2		2
	広島		41	23	64		7	1	8
	山口				0				0
	小計	1	41	26	68	1	9	1	11
四国	徳島				0			3	3
	香川			1	1				0
	愛媛				0				0
	高知				0				0
	小計	0	0	1	1	0	0	3	3
九州	福岡			1	1				0
	佐賀				0				0
	長崎		1	2	3		1	2	3
	熊本				0				0
	大分				0				0
	宮崎				0				0
	鹿児島				0				0
	小計	0	1	3	4	0	1	2	3
沖縄	沖縄	0	0	6	6	0	0	6	6
	合計	297	176	147	620	292	168	147	607

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	県名 宿泊 都道府県	一泊目			一泊目 合計	二泊目			二泊目 合計
		愛知	岐阜	三重		愛知	岐阜	三重	
北海道	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	青森				0				0
	岩手				0				0
	宮城	519	115		634	519	98		617
	秋田				0				0
	山形	1,096			1,096				0
	福島				0				0
	小計	1,615	115	0	1,730	519	98	0	617
関東	茨城				0				0
	栃木	395			395	12			12
	群馬				0				0
	埼玉				0				0
	千葉	21,754	3,859	5,403	31,016	20,545	3,765	4,846	29,156
	東京	12,846	3,700	2,031	18,577	13,562	3,613	1,699	18,874
	神奈川	2,477			2,477	1,057		38	1,095
	小計	37,472	7,559	7,434	52,465	35,176	7,378	6,583	49,137
甲信越	山梨	3,906		587	4,493	5,605	27	1,377	7,009
	新潟				0				0
	長野	343			343	451			451
		小計	4,249	0	587	4,836	6,056	27	1,377
北陸	富山				0		58		58
	石川	449	58		507	211			211
	福井				0				0
		小計	449	58	0	507	211	58	0
東海	岐阜				0	238			238
	静岡	1,512		66	1,578	2,329		127	2,456
	愛知				0				0
	三重				0				0
		小計	1,512	0	66	1,578	2,567	0	127
近畿	滋賀			168	168				0
	京都		336	315	651		231	103	334
	大阪	554	3,797	1,497	5,848	543	5,291	3,103	8,937
	兵庫	230	1,584	1,880	3,694	230	1,431	2,478	4,139
	奈良				0				0
	和歌山				0				0
	小計	784	5,717	3,860	10,361	773	6,953	5,684	13,410
中国	鳥取				0				0
	島根	241			241	241			241
	岡山			192	192		97		97
	広島		3,582	1,863	5,445		822	51	873
	山口				0				0
	小計	241	3,582	2,055	5,878	241	919	51	1,211
四国	徳島				0			335	335
	香川			50	50				0
	愛媛				0				0
	高知				0				0
		小計	0	0	50	50	0	0	335
九州	福岡			136	136				0
	佐賀				0				0
	長崎		81	168	249		81	199	280
	熊本				0				0
	大分				0				0
	宮崎				0				0
	鹿児島				0				0
	小計	0	81	304	385	0	81	199	280
沖縄	沖縄	0	0	231	231	0	0	231	231
	合計	46,322	17,112	14,587	78,021	45,543	15,514	14,587	75,644

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

〈近畿地区〉  
宿泊校数

(校)

方面	府県名 宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	
北海道	北海道	1	3	0	0	0	4	1	3	0	0	0	4
東北	青森						0						0
	岩手						0						0
	宮城						0						0
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島						0						0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	茨城						0						0
	栃木						0		1				1
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉	8	53	4	7	1	73	19	41	6	7	3	76
	東京	1	31	20	3	3	58		34	21	6	3	64
	神奈川	1	1			1	3	1	3				4
	小計	10	85	24	10	5	134	20	79	27	13	6	145
甲信越	山梨	20	6	7	9	3	45	8	12	6	6	2	34
	新潟						0				1		1
	長野	47	10	25	2	5	89	45	10	25	3	5	88
		小計	67	16	32	11	8	134	53	22	31	10	7
北陸	富山	7					7	7	1				8
	石川	5	2	3	3	1	14	10	2	2			14
	福井	8	2			1	11	5	1				6
		小計	20	4	3	3	2	32	22	4	2	0	0
東海	岐阜	54	6			2	62	51	5	1		1	58
	静岡	1		3	1		5	2			2		4
	愛知		3				3		3	1		2	6
	三重		5			2	7	2	4			1	7
		小計	55	14	3	1	4	77	55	12	2	2	4
近畿	滋賀	2	6			1	9	2	6			2	10
	京都						0		1				1
	大阪		2			2	4	1	3	1	10	2	17
	兵庫	5			5	1	11	10	1	2	9	7	29
	奈良						0						0
	和歌山			2	3		5			2	2		4
	小計	7	8	2	8	4	29	13	11	5	21	11	61
中国	鳥取	11	2	2		2	17	9	2				11
	島根						0	1		1			2
	岡山	9	1		1	7	18	15	3	6	1	1	26
	広島	36	5	13	15	7	76	20	2	5	2	4	33
	山口	6					6	2					2
	小計	62	8	15	16	16	117	47	7	12	3	5	74
四国	徳島	16	2	4	3	1	26	13	1	2		5	21
	香川	4	3	2	1	3	13	9	4	4	2	4	23
	愛媛	8	4	2		1	15	10	2	1	1	2	16
	高知	14	3	1		2	20	19	4	1		1	25
		小計	42	12	9	4	7	74	51	11	8	3	12
九州	福岡		2	1			3	2	2	1			5
	佐賀	1	7	2	1		11	4	4	2	1		11
	長崎	63	68	30	14	4	179	59	68	30	14	4	175
	熊本	5	1	1			7	2	4	1			7
	大分		2	1			3		3	1			4
	宮崎		1				1	1					1
	鹿児島	3	8				11	4	8				12
	小計	72	89	35	15	4	215	72	89	35	15	4	215
沖縄	沖縄	76	85	35	19	19	234	76	85	35	19	18	233
	合計	412	324	158	87	69	1,050	410	323	157	86	67	1,043

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	府県名 宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	
北海道	北海道	101	294	0	0	0	395	101	294	0	0	0	395
東北	青森						0						0
	岩手						0						0
	宮城						0						0
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島						0						0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	茨城						0						0
	栃木						0	100					100
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉	835	5,789	356	478	111	7,569	3,210	4,779	591	691	201	9,472
	東京	192	2,259	888	213	37	3,589		2,427	973	539	37	3,976
	神奈川	303	210			22	535	227	139				366
	小計	1,330	8,258	1,244	691	170	11,693	3,437	7,445	1,564	1,230	238	13,914
甲信越	山梨	3,577	796	847	1,450	389	7,059	1,453	1,609	734	934	321	5,051
	新潟						0				42		42
	長野	7,476	1,684	3,410	304	385	13,259	7,252	1,712	3,410	605	385	13,364
	小計	11,053	2,480	4,257	1,754	774	20,318	8,705	3,321	4,144	1,581	706	18,457
北陸	富山	962					962	1,028	197				1,225
	石川	675	467	141	403	53	1,739	1,505	493	55			2,053
	福井	1,079	385			154	1,618	585	162				747
	小計	2,716	852	141	403	207	4,319	3,118	852	55	0	0	4,025
東海	岐阜	7,248	1,135			298	8,681	6,568	860	86		127	7,641
	静岡	276		397	260		933	217			297		514
	愛知		535				535		431	190		224	845
	三重		507			102	609	375	763			93	1,231
	小計	7,524	2,177	397	260	400	10,758	7,160	2,054	276	297	444	10,231
近畿	滋賀	157	1,047			288	1,492	157	914			297	1,368
	京都						0		107				107
	大阪		252			51	303	114	310	316	1,287	41	2,068
	兵庫	820			702	157	1,679	1,587	220	160	1,200	380	3,547
	奈良						0						0
	和歌山			277	720		997			277	459		736
	小計	977	1,299	277	1,422	496	4,471	1,858	1,551	753	2,946	718	7,826
中国	鳥取	1,427	265	256		131	2,079	1,234	265				1,499
	島根						0	159		38			197
	岡山	1,738	129		268	756	2,891	1,905	705	833	145	147	3,735
	広島	4,251	709	1,652	1,333	832	8,777	2,192	183	365	221	506	3,467
	山口	564					564	305					305
	小計	7,980	1,103	1,908	1,601	1,719	14,311	5,795	1,153	1,236	366	653	9,203
四国	徳島	2,443	350	247	462	104	3,606	1,548	203	152		770	2,673
	香川	555	423	161	127	372	1,638	1,391	428	371	187	577	2,954
	愛媛	1,024	718	248		161	2,151	1,255	296	109	29	251	1,940
	高知	2,021	379	86		208	2,694	3,153	525	139		100	3,917
	小計	6,043	1,870	742	589	845	10,089	7,347	1,452	771	216	1,698	11,484
九州	福岡		232	139			371	469	342	139			950
	佐賀	267	1,220	341	6		1,834	623	570	234	187		1,614
	長崎	8,758	9,908	3,296	2,487	401	24,850	8,263	10,074	3,403	2,306	401	24,447
	熊本	775	314	166			1,255	234	657	166			1,057
	大分		239	268			507		399	268			667
	宮崎		50				50	147					147
	鹿児島	456	1,232				1,688	520	1,153				1,673
	小計	10,256	13,195	4,210	2,493	401	30,555	10,256	13,195	4,210	2,493	401	30,555
沖縄	沖縄	10,049	9,794	4,582	2,293	1,709	28,427	10,049	9,794	4,582	2,293	1,661	28,379
	合計	58,029	41,322	17,758	11,506	6,721	135,336	57,826	41,111	17,591	11,422	6,519	134,469

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

※以下の⑦から⑮までの諸表については国内2泊3日で修学旅行を実施した2,912校を対象として算出

⑦ 生徒一人あたりの方面別旅行費用 平均額

(円)

地区 旅行方面	関東	東海	近畿
北海道	71,885	-	68,056
東北	49,261	73,696	-
関東	48,951	60,472	64,754
甲信越	50,555	53,549	53,208
北陸	61,253	55,914	51,794
東海	45,000	65,395	50,244
近畿	69,244	57,955	56,053
中国	73,538	67,222	55,622
四国	-	55,970	51,660
九州	75,847	71,712	59,212
沖縄	-	73,937	64,610
総平均額	67,880	60,607	58,461

⑧ 生徒一人あたりの旅行費用分布(校数と割合)

(校・%)

旅行費用(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
30,000未満	0	0	3	3	0.1
30,000～	1	0	4	5	0.2
35,000～	6	2	13	21	0.7
40,000～	10	7	48	65	2.2
45,000～	28	39	126	193	6.6
50,000～	56	84	184	324	11.1
55,000～	137	145	208	490	16.8
60,000～	239	136	179	554	19.0
65,000～	284	98	154	536	18.4
70,000～	169	49	89	307	10.5
75,000～	199	18	21	238	8.2
80,000～	120	5	6	131	4.5
85,000～	34	7	4	45	1.5
合計校数	1,283	590	1,039	2,912	100.0

⑨ 生徒一人あたりの交通費(貸切バス代除く)分布(校数と割合)

(校・%)

交通費(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	82	170	325	577	19.8
5,000～	21	92	41	154	5.3
10,000～	121	121	83	325	11.2
15,000～	209	133	134	476	16.3
20,000～	298	46	144	488	16.8
25,000～	289	19	229	537	18.4
30,000～	152	6	35	193	6.6
35,000～	73	2	17	92	3.2
40,000～	26	0	12	38	1.3
45,000～	10	1	3	14	0.5
50,000～	2	0	16	18	0.6
合計校数	1,283	590	1,039	2,912	100.0

総平均額(円)	22,929	10,879	16,074
---------	--------	--------	--------

⑩ 生徒一人あたりの貸切バス代分布(校数と割合)

(校・%)

貸切バス代(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	313	41	56	410	14.1
5,000～	582	206	351	1,139	39.1
10,000～	320	263	479	1,062	36.5
15,000～	45	59	121	225	7.7
20,000～	15	13	21	49	1.7
25,000～	7	3	10	20	0.7
30,000～	1	1	1	3	0.1
35,000～	0	3	0	3	0.1
40,000～	0	0	0	0	0.0
45,000～	0	1	0	1	0.0
50,000～	0	0	0	0	0.0
合計校数	1,283	590	1,039	2,912	100.0

総平均額(円)	8,006	10,779	11,032
---------	-------	--------	--------

⑪ 生徒一人あたりの宿泊費分布(校数と割合)

(校・%)

宿泊費(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	0	0	5	5	0.2
5,000～	0	0	13	13	0.4
10,000～	4	16	48	68	2.3
15,000～	247	213	475	935	32.1
20,000～	814	280	409	1,503	51.6
25,000～	192	68	79	339	11.6
30,000～	16	10	8	34	1.2
35,000～	6	2	1	9	0.3
40,000～	3	1	0	4	0.1
45,000～	0	0	1	1	0.0
50,000～	1	0	0	1	0.0
合計校数	1,283	590	1,039	2,912	100.0

総平均額(円)	22,516	21,401	19,965
---------	--------	--------	--------

⑫ 生徒一人あたりの体験費分布(校数と割合)

(校・%)

体験費(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
2,000未満	696	142	86	924	31.7
2,000～	386	90	140	616	21.2
4,000～	123	161	240	524	18.0
6,000～	41	81	158	280	9.6
8,000～	15	40	116	171	5.9
10,000～	10	24	108	142	4.9
12,000～	6	21	95	122	4.2
14,000～	1	18	59	78	2.7
16,000～	1	8	28	37	1.3
18,000～	3	3	3	9	0.3
20,000～	1	2	6	9	0.3
合計校数	1,283	590	1,039	2,912	100.0

※近畿地区は入場料含む

総平均額(円)	2,191	5,153	7,489
---------	-------	-------	-------

⑬ 生徒一人あたりの保険料分布(校数と割合)

(校・%)

保険料(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
500未満	517	433	659	1,609	55.3
500～	476	109	241	826	28.4
1,000～	113	18	44	175	6.0
1,500～	73	23	53	149	5.1
2,000～	69	3	30	102	3.5
2,500～	26	2	4	32	1.1
3,000～	9	2	8	19	0.7
合計校数	1,283	590	1,039	2,912	100.0

総平均額(円)	782	481	598
---------	-----	-----	-----

⑭ 小遣い上限 平均額

(円)

年度	関東	東海	近畿
2023(令和5)	14,043	13,791	9,549
2022(令和4)	13,551	12,327	9,308
2021(令和3)	10,582	10,010	9,855

⑮ 旅行方面別費用内訳 平均額

〈関東地区〉

(円)

費用項目 旅行方面	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
北海道	20,283	21,640	6,168	6,633	1,575
東北	20,754	3,745	13,617	3,512	617
関東	21,400	840	13,871	1,400	756
甲信越	21,846	3,650	11,782	5,692	522
北陸	21,561	16,632	9,570	3,040	510
東海	19,580	7,280	8,333	1,800	237
近畿	22,632	24,344	7,697	2,007	803
中国	22,815	32,001	3,753	743	591
四国	-	-	-	-	-
九州	17,600	28,880	10,546	7,318	1,926
沖縄	-	-	-	-	-

〈東海地区〉

(円)

費用項目 旅行方面	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
北海道	-	-	-	-	-
東北	20,756	23,718	9,417	2,375	939
関東	20,931	10,356	10,269	5,278	458
甲信越	21,786	3,926	10,833	5,268	394
北陸	25,100	3,633	11,948	3,947	296
東海	22,489	8,354	12,346	5,088	577
近畿	22,631	6,282	12,404	5,937	566
中国	22,599	19,442	10,066	4,035	476
四国	25,850	0	15,662	5,965	346
九州	22,413	18,250	20,367	3,101	508
沖縄	14,893	29,136	20,182	4,185	578

〈近畿地区〉

(円)

旅行方面	費用項目	宿泊費	交通費	貸切バス代	体験活動費	保険料
北海道		15,388	28,544	5,868	5,437	590
東北		-	-	-	-	-
関東		20,909	21,474	8,364	7,150	569
甲信越		18,735	5,694	13,510	12,039	504
北陸		21,323	3,945	12,721	8,306	614
東海		20,514	2,226	12,357	11,327	367
近畿		23,269	779	12,311	9,661	406
中国		22,013	9,013	12,699	8,173	645
四国		21,663	3,592	12,678	11,295	501
九州		19,925	21,354	10,352	4,458	722
沖縄		17,943	29,317	9,673	4,726	658

⑩ 不参加生徒について(複数回答)

(校・人・%)

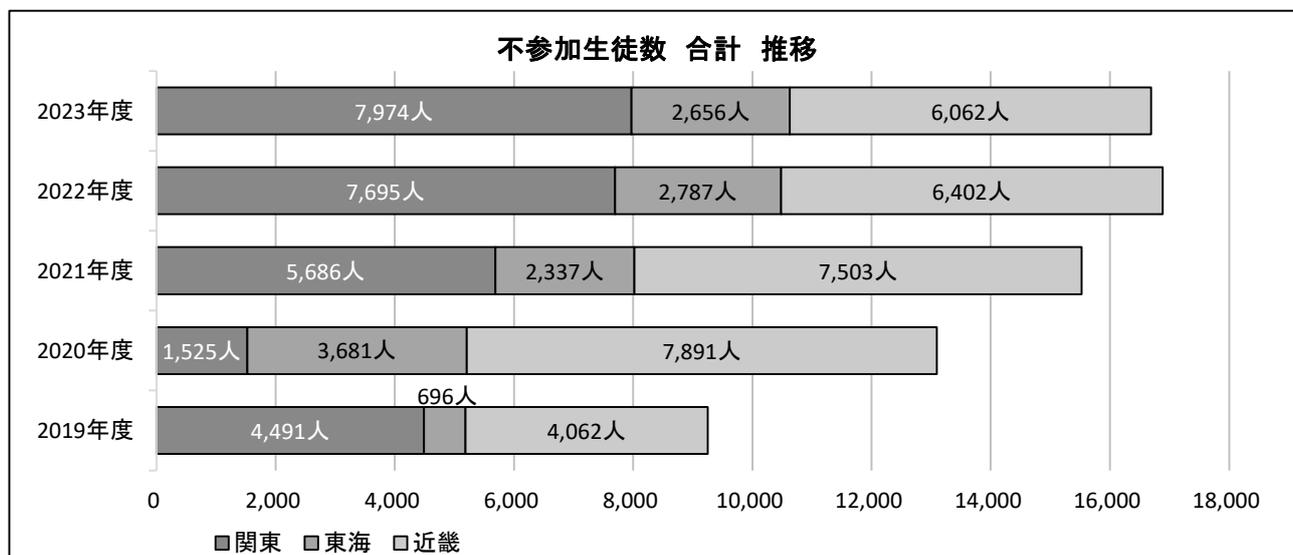
不参加生徒	関東		東海		近畿		合計	割合
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
不参加生徒	1,150	7,974	520	2,656	940	6,062	2,610	16,692
集計対象校数比	88.7		83.2		89.3		87.8	

(校・人)

(不参加理由別内訳)	関東		東海		近畿		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
保護者判断	267	587	146	409	113	204	526	1,200
経済的理由	108	202	105	56	34	60	247	318
不登校	941	4,968	443	1,814	747	3,914	2,131	10,696
疾病	324	576	61	99	242	435	627	1,110
部活動	25	44	-	-	18	26	43	70
個人活動	58	126	-	-	39	62	97	188
その他	179	329	45	53	114	220	627	1,110

※内訳不明・理由重複があるため、校数・人数とも総数とは合致しない

※東海地区の疾病・その他の理由による不参加生徒数の調査は愛知県のみ



- 2020年度についてはコロナ禍により修学旅行の中止が最も多発した年度でもあり、あくまで参考数値の域を出ないが、不参加生徒数はコロナ禍発生以来、増加が続いていた。  
2023年度については、ほぼ横ばいの結果となった。(関東のみ微増)  
それでもコロナ禍以前(2019年度)との比較では7,443名増加となっており、コロナが与えた影響は計り知れない。
- 経済的理由及び不登校を理由とする不参加生徒数も2023年度に入り漸減となったが、特に不登校を理由とする不参加生徒数は高止まりしている。  
上記2つの理由による不参加生徒数はコロナ禍前(2019年度)と比較すると3,752名もの増加である。コロナの影響による学校生活や家庭状況の大きな変化が影を落とし続けているのであろう。
- 保護者判断を理由とする不参加生徒数については、コロナ禍の影響をまともに受けた2020年度から調査数値を取り始めたが、本年度まで減少傾向が続いており、前年度との比較では半減した。
- コロナの感染状況を懸念した保護者の判断等が大きく影響したものの、新型コロナウイルスに対する理解が深まり、年を追うごとにあらゆる面での感染防止対策が進化を続けたことに加え、大きな打撃を受けた学校生活の中で「修学旅行という貴重な体験、教育活動をなんとか経験、実践させたい」という学校や保護者の願いの高まりと、本年度新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類になったことが修学旅行実施に大きく反映されたものと考えられる。

(3) 修学旅行実施にあたり昨年度と変更した点(複数回答)

(校・%)

内 容	関東	東海	合計	割合
なし	835	99	934	57.6
実施期間	69	32	101	6.2
実施時期	118	53	171	10.5
実施方面	168	170	338	20.8
実施学年	2	2	4	0.2
実施内容(ねらい・活動内容等)	217	118	335	20.7
指導計画・指導時間	87	29	116	7.2
その他	45	11	56	3.5

※愛知県除く

その他 交通機関の変更(片道を航空機へ変更・バスから新幹線利用へ等)、保険の内容、スマートフォンの利用、服装、班別行動時の移動をタクシーから公共交通機関へ宿泊県の変更

(4) 今後、修学旅行先として検討したい方面や地域(複数回答)

〈関東地区〉

(校・%)

方 面 ・ 地 域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計	割合
なし	91	69	73	231	134	598	46.1
北海道	13	22	0	25	12	72	5.6
東北	17	13	8	29	54	121	9.3
北関東	1	0	0	0	13	14	1.1
東京・千葉・神奈川	5	0	1	2	6	14	1.1
伊豆・箱根・富士	4	1	1	0	3	9	0.7
清里・蓼科・諏訪	0	1	0	0	16	17	1.3
白馬・安曇野・黒部	2	2	0	2	34	40	3.1
金沢・能登	11	15	24	43	57	150	11.6
福井・滋賀	1	2	4	6	5	18	1.4
京都・奈良	89	52	61	94	116	412	31.8
大阪・神戸	46	31	20	74	79	250	19.3
瀬戸内	2	0	0	4	1	7	0.5
四国	4	0	0	3	2	9	0.7
広島	33	22	12	40	52	159	12.3
長崎	8	1	1	3	2	15	1.2
福岡	3	1	0	1	2	7	0.5
沖縄	8	3	1	4	7	23	1.8
その他	3	0	0	2	3	8	0.6

その他 台湾、伊勢・志摩、名古屋、鹿児島県奄美市、長野、NZ以外の海外生徒や保護者の意見を参考に検討  
希望よりも予算内で行ける地域

〈東海地区〉

(校・%)

方 面 ・ 地 域	岐阜県	三重県	合計	割合
なし	65	31	96	29.4
北海道	1	1	2	0.6
東北	5	0	5	1.5
北関東	1	1	2	0.6
東京・千葉・神奈川	76	80	156	47.9
伊豆・箱根・富士	3	11	14	4.3
清里・蓼科・諏訪	0	2	2	0.6
白馬・安曇野・松本	0	2	2	0.6
立山・黒部	0	0	0	0.0
金沢・能登	1	1	2	0.6
福井・滋賀	1	1	2	0.6
大阪・兵庫	38	34	72	22.1
南紀	1	1	2	0.6
淡路島	2	4	6	1.8
小豆島	2	0	2	0.6
広島	30	49	79	24.2
四国	0	4	4	1.2
九州	5	6	11	3.4
沖縄	1	17	18	5.5
その他	6	2	8	2.5

※愛知県除く

その他 日帰りで行ける地域(岐阜・愛知)、瀬戸内の島  
日間賀島、奈良・京都、海外、  
生徒の意見を取り入れたい

※近畿地区については本調査を実施していない。

○約3年超に及んだコロナ禍における修学旅行の経験が、今後の修学旅行の検討やその動向に及ぼす影響等を考察する観点から、後記の自由記述の部分と併せて学校現場より回答を収集した。

## (5) アレルギー対応について(主な意見を抜粋)

### ① アレルギー対策で有効、情報共有が適切であった事例

- 参加申込書を提出する際に、保護者から食物アレルギーについて申告のあった生徒については、旅行会社を通じて旅館や弁当の業者に通達し、代替食を用意して頂いた。また、エピペンが必要な生徒もいたので、本人と養護教諭が常時携帯するようにした。
- アレルギー調査を行い旅行会社と連携した。そのとき、学校の窓口を限定して行うことで、対応の漏れがなくなった。
- 毎月アレルギー対応委員会を保護者を交えて開いていることから、家庭との情報交換はスムーズだった。
- エピペンの使用方法を事前に確認し、旅行中は常備した。なお、複数職員で食事のメニューをチェックした。
- 班別行動で立寄る予定の店に事前に学校から直接電話をかけ、アレルギー対応について確認をした。さらに担任教諭が当日同時刻に店舗へ行き、直接食事内容を目視で確認した。
- アレルギーの生徒には個別にカードを持たせ、班別行動で飲食する場合に提示するようにした。

アレルギー対策の要点は何といても、教職員・保護者・生徒・旅行会社・飲食施設等との情報共有である。特に、日常の学校生活からの学校と保護者・生徒との信頼関係が重要になる。また、エピペンの携行も必須となるが、引率者全員もその使用について熟知する必要がある。

「養護教諭と学年担当がすべての食事会場に先に入り、メニューが打ち合わせ通りになっているか、誤食がないか見守るようにした」という万全の対応をとった例もあったが、引率者への過重負担は大きな課題である。

### ② アレルギー対策で留意すべき事例

- ホテル側の不手際で、アレルギー事故が起きた。代替食の小皿が、除かなくてもいい小皿と取り換えられており、アレルゲンの入った除去食の小皿が残ったまま、代替メニューとして提供され、食べてしまったためアナフィラキシーショック（吐き気や腹痛）が起きた。
- メニュー名と写真、アレルギー表示だけで原材料名が分からず誤食してしまった。実際に症状が出て、処方薬はない生徒だったので冷やすなどの対応をした。保護者と連絡を取りながら対応方を相談せざるを得なかった。
- 小麦アレルギーで、念のため麦茶（大麦ですが）も飲まないようにしている生徒がいたが、宿での食事の際にほうじ茶と勘違いして麦茶を口にしてしまった。食事については成分表で確認していたが、湯茶に関しては成分表に記載がなかった。
- 修学旅行の最終日、ホテルでの全体食事の際、ホテルの係員の方が、「アレルギー対応の生徒は以上でしょうか?」と、他の生徒も聞こえる大きな声で話したのが気になった。

事前に対応できるものと、現地で実際に起きてしまうことの予測が困難な場合とがある。学校・当該生徒・提供施設との密接な情報共有が必須である。また、班別行動の際への対応や、試食品への配慮も求められるが、引率者への負担が益々重くなるのも課題である。

「宗教上の食物摂取制限」のように、今後はこのような宗教上の食物対応が増えると思われる。

## (6) 他校に紹介したい取り組み(主な意見を抜粋)

- 京都市の「エコ修学旅行」という企画に参加し、水筒やエコバック持参、食べ残し0チャレンジを実施し、布製のエコバックを貰った。
- 栃木県から案内のあった「エコたび栃木」に参加した。支給されたエコバックの利用や、資源やゴミに対する生徒への意識づけを通して、付加価値のある修学旅行になった。
- 総合学習で、「京都のように観光客を呼び込み、地域を活性化させるにはどうするか」についてフィールドワークを行い、英語科で外国人向けのプレゼン資料の作成を行い、京都市役所の職員にプレゼンした。
- 茨城空港から飛行機で神戸空港まで移動した。1人あたり補助金1,000円をもらうことができた。
- 兼六園でのボランティアによるガイドの採用(地元の方との触れ合いや、学習の深まりにつながる)
- 広島平和資料館が無料(送料はかかる)で貸し出している平和教材の活用を事前学習で取り寄せた。
- 世界平和を誓い、サミット後に広島の平和記念公園において、平和集会を行った。外国人旅行者からも大きな拍手をいただき、生徒の平和への意識を高めることができた。
- 総合的な学習の時間での「まちおこし協力隊」と関連させ、地域のパンフレットを作成し旅館に掲示させていただいた。
- 自作のフォトラリーを行った。下見時に教員がインスタントカメラで写真を撮影して冊子を作り、旅行当日、生徒に同じ風景同じポーズで写真を撮り、得点を競わせた。
- 修学旅行中に避難訓練を実施・防災マニュアルを携帯させた
- 御礼文を部屋に置いて帰り、宿舎の方々に大変感謝された。

各地域や学校から、それぞれ特色のある様々な事例が紹介された。以下にその要点だけを紹介する。

- \* 3日目の清水寺で、全員着物着用で全体写真を撮り、着物姿で散策
- \* 留学生との京都市内散策
- \* 河村能楽堂のおもしろ能楽講座
- \* 吉本ビルで表現活動のワークショップ体験活動
- \* 東日本大震災遺構伝承館
- \* 白川郷にて現地の小中学生と交流
- \* 函館トレジャーハンター
- \* 近畿大学 原子力研究所
- \* 東京グローバルゲートウェイ
- \* 富士五湖体験学習の洞窟探検
- \* e-スポーツ体験
- \* 広島平和学習で、現地の学生ボランティアガイド
- \* 参加できなかった生徒のオンライン双方向による修学旅行参加(レクリエーションなど)
- \* 東京大学・早稲田大学でのキャリアインタビュー
- \* 太刀洗平和資料館
- \* 前年度に長崎市の学校とオンライン交流会
- \* 立山アルペンルート(白馬～立山)を班別行動
- \* 運動会では3年生の集団演技として、ダイナミック琉球ダンスを披露
- \* 修学旅行の終了後、京都・奈良紹介CMを作成(後輩につながるよう)
- \* ホテルのテーブルマナー(夕食)
- \* 海外の方へのインタビューという外国語活動
- \* 人と防災未来センター(兵庫)

## (7) これからの修学旅行実施について課題と思われること(主な意見を抜粋)

### ① 費用について

- 諸々の金額が高騰している中、修学旅行の費用も見積もり段階より大幅に増えている。今後、どこまで保護者負担に頼れるか心配でもある。この内容で6万円を超えたら実施の意味を問う必要があると感じている。
- 家庭の経済状況によっては、旅行代金負担をお願いする限界にきている。これ以上、旅行代金が上昇するようだと、修学旅行実施の有無から検討せざるを得ない。
- 職員の出張旅費の不足。
- 修学旅行の費用がかなり高額になり、保護者負担がかなり大きい。バスやタクシーの使用時間を減らすなどの工夫や、旅行積立開始時期を早めるか等を考えているが解消には至っていない。経済的理由で参加できない家庭が増えてきているのも事実である。

コロナ禍以降の各処における人出不足や諸物価高騰は、修学旅行を直撃しており、旅行費用の高騰は喫緊の課題となっている。経済的理由による不参加生徒も当然増加するであろうし、引率教職員の旅費の問題もある。費用対効果は当然重視しなければならないが、学校側の対応も限界がある。公的支援の増額が切に望まれるところである。

### ② オーバーツーリズム問題

- インバウンドが増える中、京都観光の自由度が狭くなっている。
- 特に京都方面は、観光客が多すぎて、実施内容に支障をきたす。
- 旅行方面を分散させるのも手段の1つだが、京都・奈良の魅力もあり難しい問題だと感じている。
- 外国人観光客も戻ってきてかなり混雑しており、予定の見学ができなかった。一極集中的な状況である。実施時期をずらす方法もあるが、その場合費用の問題が発生する。修学旅行の目的を再考し、遠距離移動を要しない近場での実施に切り替える方が良いのか迷っている。

京都にみられる一部有名観光地へのオーバーツーリズムは、修学旅行実施上の大きな課題になっている。外国人観光客の存在は国際交流の面から重要であり、日本経済に資する影響は大であるので、一方的に否定するものではない。しかし、当地の人々の日常生活にまで影響を与えている現状は、もはや修学旅行上の課題だけではなく、一刻も早く解決すべきものとなっている。

### ③ 実施時期・感染症・疾病対策等

- 実施時期についてであるが、新型コロナのような感染症が今後も発生した場合、3年生で計画するよりも、変更できる時間が取れる2年生で計画をしておいた方がよいのかとも考えている。
- 部活動が地域移行になると、修学旅行の時期にクラブの大会が重なることが頻発する。中体連大会はほぼ同じ日程なので修学旅行側の方で配慮できるが、今後は難しくなる。
- コロナウイルス感染症が第5類となったものの、感染がおさまったわけではないため、コロナに関する保険内容の充実は必要である。また、自然災害による公共交通機関の運休や、旅行先での体調不良等、緊急時の対応策についてあらゆる想定をしておくことが大事。
- コロナ禍により、行き先を近隣地域にして、娯楽要素が高まった。第5類移行により、本来の学習本位の視点での再構成をしなくてはならないが、生徒や保護者の理解を得ることが難しい。

気候変動による暑さや豪雨対策、部活動の地域移行に関しての大会日程の設定見直し、そして感染症対策等、修学旅行の日程に関しては不透明な要素が拡大している。新幹線の集約輸送とも関連してくるので、今後十分な検討が必要と思われる。

しかし、コロナ禍により個々の活動が多かったため、コミュニケーションを取る場があまりなかったため、「一つのことをみんなで協力して成し遂げるという活動や、それぞれの情報を共有し、共感する機会を増やした旅行」は大事であり、より効果的な方法を考えていきたい。

#### ④ 方面について

- 関東の本市は連合で参加するため、新幹線がB列車と決まっている。そうすると、現地に着く時間が遅くなるため、見学地が狭まってしまう。A列車が使えれば実施内容を変えることができるのでありがたい。
- 今年度はコロナ対応の為に北海道に行ったが、教員の考えでは、京都・奈良修学旅行のイメージが強い。京都・奈良の混雑や実施日が中体連の大会中になってしまうことも考えると、方向を変更していくことも大切である。
- 20年来の「沖縄修学旅行」であり、継続をしていきたいところではあるが、物価高や原油価格の高騰等で航空運賃が値上がりしており、コスト面で目的地の変更を余儀なくされている。
- 従来は沖縄を目的地として実施していたが、コロナ禍により長崎に変更した。どのタイミングで沖縄に戻すかが課題になっている。
- 大型の航空機の便数が減り、2便に分かれなければ日程的に難しくなっていること。航空機の利用自体を検討する必要がある。

圧倒的に関西方面中心の関東、東西多方面に分散している東海、航空機利用が多い近畿、という3地区それぞれの特色があるが、コロナ禍以降、旅行費用の高騰もあって方面については様々な課題が生じている。

また、方面決定に当たっては、「生徒が自主的・自治的な取り組みをするように」、「できるだけ生徒の意見を取り入れる」、「生徒主体でいかに行事を作っていくか」、「教師側からの提案でなく、生徒が行先・行程・内容を考える修学旅行が、これからの時代には必要になると思われる」という核心をつく意見もあった。

#### ⑤ 安全面について

- 現状は、教員の準備を含めた負担軽減や安全面への配慮から、ほとんど観光旅行のようになっており、「学び」や「体験」の要素が少なくなっている。「考える」、「感じる」ことにもっと重点を置いた修学旅行にするべきと考えている。
- 震災やコロナ禍を経て安心安全な観点が重視されていることはよいが、そのために修学旅行の目的が曖昧になってきている。何を学ばせたいか、実施する価値は何かを十分に検討する必要はある。
- 小学校から転勤してきた教員、コロナの関係で宿泊の指導を行ったことのない教員、修学旅行を引率した経験がない教員が一気に増えた。そのため、教員の京都市バスの乗り換えや班別行動のコース作りが経験不足であり、生徒への指導が十分にできないことが一番の課題である。
- 職員の報告連絡相談の徹底にLINEを活用したが、書き込んで安心してしまい、全員に周知されていると思い込んでチーフや学年主任、管理職まで個々のスタッフの動きが把握されずに組織的な動きが崩

れバラバラになりかけてしまったので、後半は口頭で報告連絡相談をすることを徹底した。

- 今年度、線状降水帯による被害で延泊を余儀なくされた学校がある。延泊に対応できる保険に加入しなければならぬと強く思った。

安心安全の修学旅行は、実施上の最優先事項である。従前の天変地異・自然災害だけでなく、人為的なものも含めて、万全の対応が求められている。実施主体の学校にとっては大きな負担ではあるが、是非、生徒・保護者の期待に応えられる修学旅行でありたい。

## ⑥ ICT 機器の利用について

- GIGA タブレットを積極的に持って行かせたい。ポケット Wi-Fi の持ち出しなども検討したい。
- IT 機器の活用により、班別活動が管理しやすくなっている。活動範囲も今まで以上に広げることができる反面、日ごろからの交通安全指導や公衆道徳の指導の徹底が必要だと考える。
- スマートフォンを禁止している学校がほとんどであるが、情操教育を行い、スマートフォンを持たせて、自分たちでルールを考えさせる必要性が出てくると感じた。実際に持っていれば、GPS で位置がわかる、迷子になっても電話できる、道案内を活用できるなど、便利な要素がたくさんある。当然ゲームやメール、SNS など、心配点もたくさんあるが、それを含めて、話し合わせる必要があると感じた。
- 見学地や食事等の割引券をアプリやインターネットで取得できることが増えているため、生徒個人に携帯電話を持たせるかを検討する必要がある。
- 班別行動の際に生徒は、グループに一台タブレットを持参した。写真や記録をとることで、修学旅行後の活動（「修学旅行おすすめるるぶを作ろう」）に生かした。

GIGA スクール構想で ICT 教育は急速に進化している。思い切った機器活用が必要であり、十分な事前指導の下、生徒を信頼して機器の有効活用に大きく舵を切り替えるべきであろう。

スマホの持ち込みを自由にしたところ、「生徒たちは節度ある使い方ができトラブルもなかった」という好結果の意見も寄せられている。

## ⑦ キャリア学習について

- キャリア教育として、職場体験等を積極的に組み入れたいが、現状では企業側の受け入れが以前以上に厳しくなっている。
- 企業研修先を決める際に「マッチングサービス」を用いたが、職種や企業が限定される。事前の準備を早い段階から進め、生徒が本当に興味・関心がある企業で研修ができるようにしたい。
- 総合的な学習の時間等と関連付けたテーマ学習の要素を第一の目的とするだけでなく、日本人として一度は訪れるべき名所等を盛り込みたいと考える。
- 大使館、領事館等が、新型コロナウイルス感染症予防対策として、見学の受け入れをしなくなった。5 類に変更されたとはいえ、引き続き受け入れていない。今後、同じような学びの機会（国際的な）を生徒に与えるためには、新しい見学施設を考えていかなければならない。

SDGs 学習と並んでキャリア学習を取り入れた修学旅行が目立つようになった。コロナ禍で受け入れ状況が厳しくなってきたという状況もあるが、「校区にゆかりのある企業訪問」や、「キャリア教育の一環で社会人アスリートより講話」という実践をした例もある。

## ⑧ その他の課題

- 初めから参加しないと表明する家庭が多くなってきた。
- 不登校ではないが、人間関係が作れない生徒が増えてきており、欠席者が増えた。
- 不登校生徒が修学旅行だけ参加するというケースが出てきている。その生徒によって個々の対応が求められる場面があり、旅行先で団体行動をしている最中なので、対応が難しくなっている。
- 小規模校の修学旅行を取り扱うことができる旅行会社が減少している。
- 旅行会社4社に声をかけたが、人手不足を理由に3社からは応札がなかった。
- 旅行会社とのやり取りがうまく行かない（返答が遅い・返ってこない等）。今後、各学校に割り当てられる営業担当者が、信頼に足る人物であるか非常に不安である。
- 大型施設の入場チケットが、事前申し込み・スマホ等へのQRコードでのチケットとなり、生徒個々のスマホが必要となってくる。特に少人数の本校においては、団体扱いができない施設もあり、結果個人申し込みとなり、当日チケットが完売で施設入場できない状況があった。

不登校あるいは集団生活に拒否反応を示す生徒、宗教上の理由から神社仏閣の見学が不可の生徒、あるいはLGBTへの対応等、生徒への個別最適な対応が求められているが、課題は大きい。  
コロナ禍を何とか乗り切った旅行会社であるが、その後遺症は甚大であり、従前とは異なる対応で学校の苦悩が広がっている。特に小規模校や交通不便な学校にそのしわ寄せがきている。

## ⑨ 修学旅行のあり方について

- 修学旅行には目的（テーマ等）があり、その目的を果たすためのものであると考える。学校の教育活動として、高額の費用を保護者の負担で行うものであり、テーマパークなど単に生徒に受けのよいコースに行って「よい思い出づくりができた」などという価値判断になっている学校は課題があると考えている。
- 個人旅行が手軽になっている現代において、修学旅行の目的や意義を改めて問い直す必要がある。ICT機器やインターネットの普及により、遠隔地とつながる方法や遠隔地についてリアルタイムで学習できる時代でもある。こうした状況において、現地を訪れる価値は何か、現地でしか学べないものは何かを考える必要がある。
- 保護者が、修学旅行を「卒業記念旅行」と誤認し、行先の選定で学習内容ではなく観光地としての場所を重視するところが学校側の見解と食い違い、説明に苦慮することがしばしばある。あくまで「修学」であるので、学習の一環で行くという理解を持ってもらいたいと切に願う。

コロナ禍を経て、修学旅行はその存在意義を改めて確認する時期に来ている。  
修学旅行は日本の独特の教育文化であり、ほとんどの日本人が経験する日本人の旅の原点でもある。同時に、学校単独では実施できない教育活動（学校行事）がこの修学旅行でもある。従って、旅行関連事業者の人たちと一体となって、より充実した修学旅行を創造していきたいものである。

### 3 まとめ

2023（令和5）年度、この三地区（関東・東海・近畿）の修学旅行の実施状況調査は16年目を迎えた。毎年、回答を寄せてくれる学校数は約3,000校、この学校数は、全国の公立中学校数の約三分の一にあたり、極めて信頼性の高い数値や内容を得ることが出来ているものとする。

その背景には、三地区の各府県市町村の中学校長会がアンケートの配布や回収方法の改善を図り、その調査の趣旨を丁寧に説明するなどの取組を積極的且つ地道に継続してきた経緯がある。

回収率はここ数年、調査対象校の96%以上を維持して、コロナ禍後となる本年度においてもその数値を保っている。

このような多大なご協力に対し、厚く御礼申し上げたい。

こうして得られた調査結果は、現在の修学旅行の状況を知る上でも、また研究活動や将来の修学旅行を展望していく上においても極めて貴重な資料である。と同時に、修学旅行に経済的な理由により参加できない生徒を一人でも減らすために、国庫補助金増額のための要請・陳情活動には欠かせないエビデンス・データとなっている。

また、3年の長きに及んだコロナ禍にあっては学校がいかにして修学旅行実施のために努力し、葛藤をしてきたのか、また結果として中止の判断をせざるを得なかったとしても、そこに至るまでにどれほど真摯な取組を続けてきたかという貴重な証言の記録でもある。

学校現場では、2020（令和2）年度春の実施はほぼ全面的に延期又は中止となったのに対して、コロナ禍3年目となる昨年度（2022・令和4）については、感染防止対策のより一層充実を図り、当初予定通りに修学旅行を実施した学校が格段に増え、中止の已む無きに至った学校は皆無となった。そして、感染症法の位置付けが5類に移行された本年度に至り、修学旅行はほぼ予定通りに実施される状況を呈している。

これは学校の努力は勿論、輸送機関、宿泊施設、受入団体・地域、旅行会社等、修学旅行に関わる方々の弛まざる地道な努力の成果である。数派の感染拡大の発生等により、極めて困難な中での逡巡と模索もあったと推察されるが、コロナ禍1年目、2年目の状況とは大きく異なるものとなり、コロナ禍前の実施状況にまでおおむね回復することができた。

生徒のために、いかに学校が努力を重ね、対策を施し、保護者の理解を得るなど、かなりの困難を抱え、葛藤をしながらも修学旅行の実施を目指してきたかという、数字の向こう側に見えるものにも大きな価値を見出したい。それは間違いなくこれからの修学旅行に大きな示唆を与えてくれることと考える。

三地区の修学旅行委員会の委員や、各府県市町村の中学校長会の皆様にはひとかたならぬお力添えを頂戴した。

あらためて深く感謝を申し上げるとともに、この調査報告書がこれからの修学旅行のさらなる発展・充実のために、少しでもお役に立てれば幸甚である。

最後に、2024（令和6）年1月1日に発災した「能登半島地震」により被災した方々に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の日も早い復旧復興を祈念する。

# 2023(令和5)年度調査研究報告

2023(令和5)年度 修学旅行の実施状況調査

2024(令和6)年2月

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8

Tel : 03-5275-6651 Fax : 03-5275-6653

E-mai shuryo@h2.dion.ne.jp

URL <http://shugakuryoko.com>